



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

令和7(2025)年簡易生命表の概要

(令和8年7月24日公表)

厚生労働省 政策統括官付参事官付
人口動態・保健社会統計室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和7(2025)年簡易生命表について

(1) 生命表とは

生命表とは、ある期間における死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や、平均してあと何年生きられるかという期待値などを、死亡率や平均余命などの指標によって表したものである。

これらの指標は、男女別に各年齢の人口と死亡数を基にして計算しており、現実の年齢構成には左右されず、死亡状況のみを表している。したがって、死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっている。また、0歳の平均余命である「平均寿命」は、全ての年齢の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

(2) 令和7(2025)年簡易生命表

令和7(2025)年簡易生命表は、令和7年1月1日から12月31日までの1年間を作成基礎期間としている。

(3) 基礎資料

令和7(2025)年簡易生命表は、人口動態統計月報年計（概数）による日本における日本人の死亡数（令和7年）及び出生数（令和6～7年）、令和7年人口推計による日本人人口を基礎資料としている。

簡易生命表（基幹統計） 作成頻度：毎年 作成方法：人口推計による日本人人口、人口動態統計（概数）をもとに作成	完全生命表（基幹統計） 作成頻度：5年ごと 作成方法：国勢調査による日本人人口（確定数）、人口動態統計（確定数）をもとに作成	都道府県別生命表 作成頻度：5年ごと 作成方法：国勢調査による日本人人口（確定数）、国勢調査年を含む前後3年間の人口動態統計（確定数）をもとに作成	市区町村別生命表 作成頻度：5年ごと 作成方法：国勢調査による日本人人口（確定数）、国勢調査年を含む前後3年間の人口動態統計（確定数）をもとに作成
--	--	---	---

※ 令和7(2025)年は国勢調査実施年であり、完全生命表を作成予定である。

1. 主な年齢の平均余命（令和7年の結果）と平均寿命の年次推移

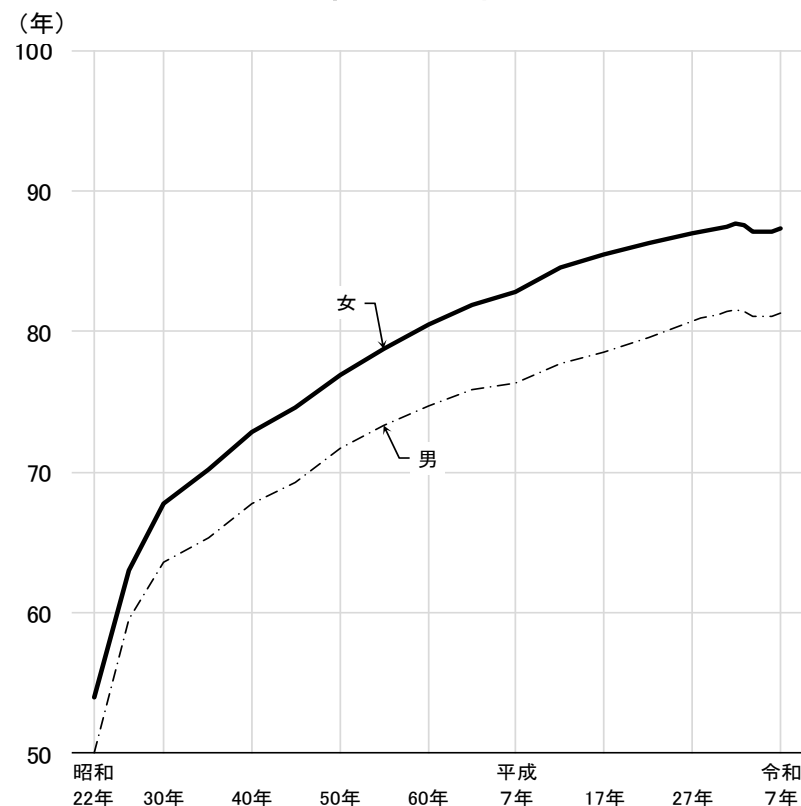
- 令和7年の平均寿命は、男が81.35年（前年比+0.25年）、女が87.33年（同+0.20年）
- 平均寿命の男女差は5.98年（前年比▲0.05年）
- 主な年齢の平均余命をみると、男女ともに全年齢で前年を上回っている

主な年齢の平均余命

（単位：年）

年齢	男			女		
	令和7年	令和6年	前年との差	令和7年	令和6年	前年との差
0歳	81.35	81.09	0.25	87.33	87.13	0.20
10	71.60	71.32	0.28	77.56	77.37	0.19
20	61.72	61.44	0.28	67.67	67.48	0.19
30	51.98	51.71	0.28	57.85	57.67	0.18
40	42.29	42.03	0.27	48.05	47.88	0.18
50	32.82	32.57	0.25	38.41	38.24	0.17
60	23.86	23.63	0.23	29.07	28.92	0.15
70	15.78	15.60	0.18	20.10	19.97	0.13
80	9.10	8.96	0.14	11.95	11.83	0.12
90	4.38	4.27	0.11	5.66	5.55	0.10

平均寿命の年次推移



注：1）平成27年以前及び令和2年は完全生命表による。
2）昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

2. 平均寿命の国際比較

平均寿命の国際比較は、国によって作成方法等が異なることから厳密な比較は困難であるが、厚生労働省が入手した資料の中では、男（81.35年）は世界第7位、女（87.33年）は世界第1位となっている

※ 女の世界第1位は41年連続

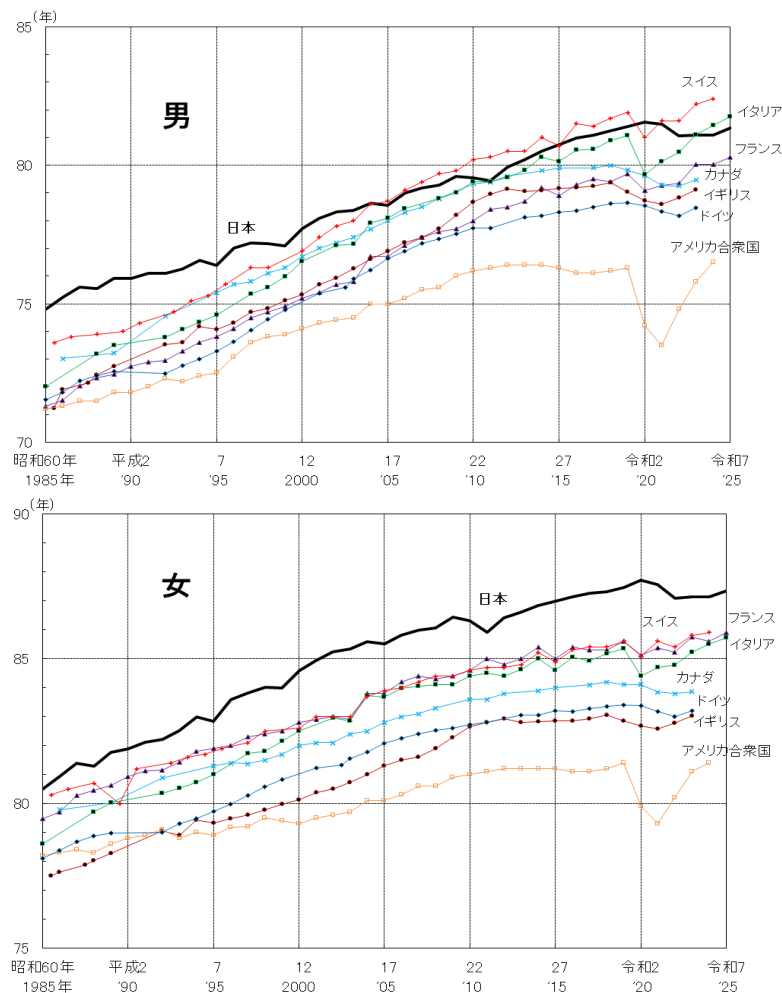
平均寿命の国際比較（上位10位まで）

男		
順位	国名	平均寿命（時点）
1	スウェーデン	82.52 年（2025）
2	スイス	82.4 年（2024）
3	イタリア	81.744年（2025）
4	ノルウェー	81.61 年（2025）
5	キプロス	81.44 年（2024）
6	スペイン	81.38 年（2024）
7	日本	81.35 年（2025）
8	シンガポール	81.23 年（2024）
9	オーストラリア	81.06 年（2022-24）
10	アイスランド	80.9 年（2024）

女		
順位	国名	平均寿命（時点）
1	日本	87.33 年（2025）
2	韓国	86.6 年（2024）
3	スペイン	86.53 年（2024）
4	スイス	85.9 年（2024）
4	フランス	85.9 年（2025）
6	キプロス	85.83 年（2024）
7	イタリア	85.729年（2025）
8	シンガポール	85.57 年（2024）
9	スウェーデン	85.55 年（2025）
10	オーストラリア	85.10 年（2022-24）

資料：国連「Demographic Yearbook」等

主な国の平均寿命の年次推移 -1985~2025年-

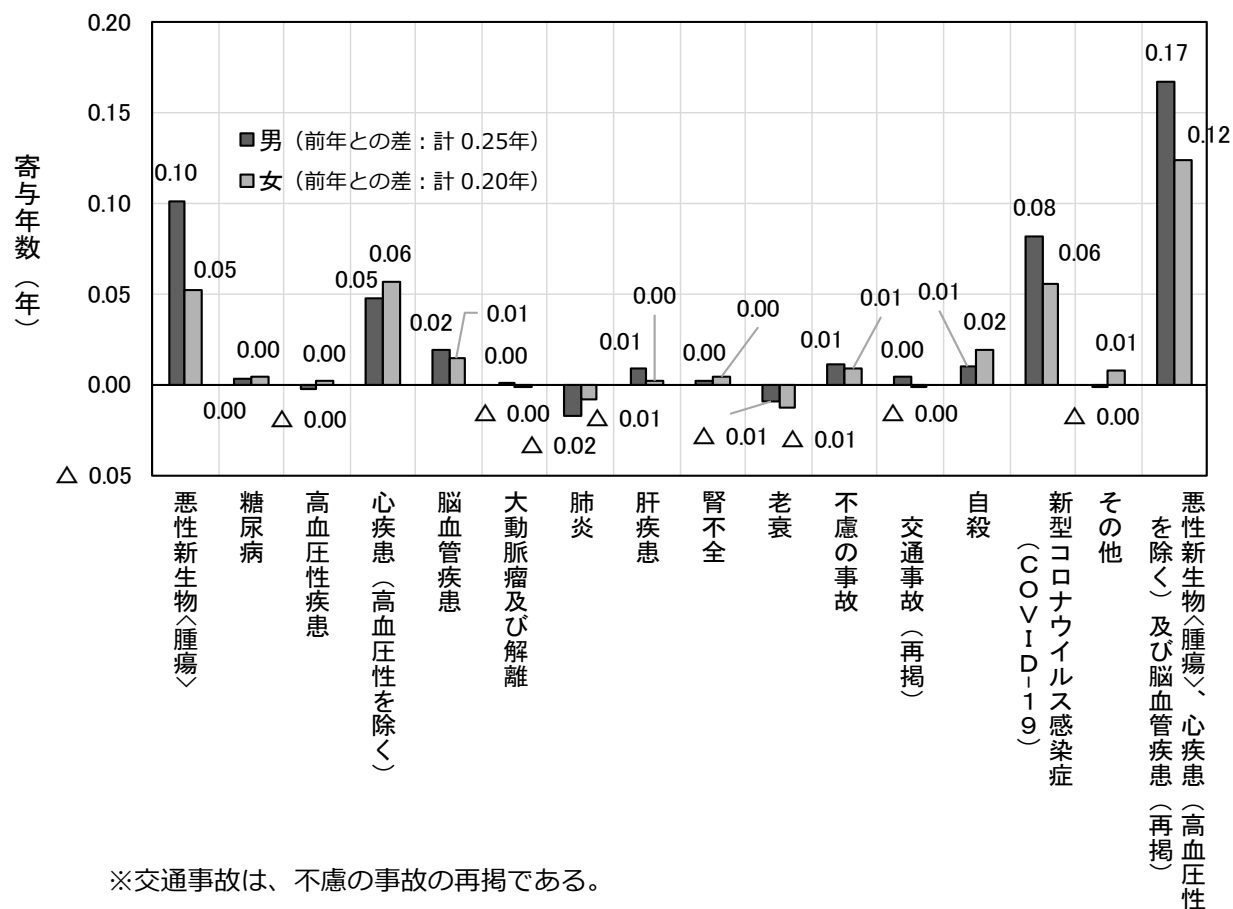


3. 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女ともに、

- 「悪性新生物〈腫瘍〉」、「心疾患（高血圧性を除く。以下同じ。）」、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」などの死亡率の変化が、平均寿命を延ばす方向に働いている
- 一方、「肺炎」、「老衰」などの死亡率の変化が、平均寿命を縮める方向に働いている

平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数（令和7年）



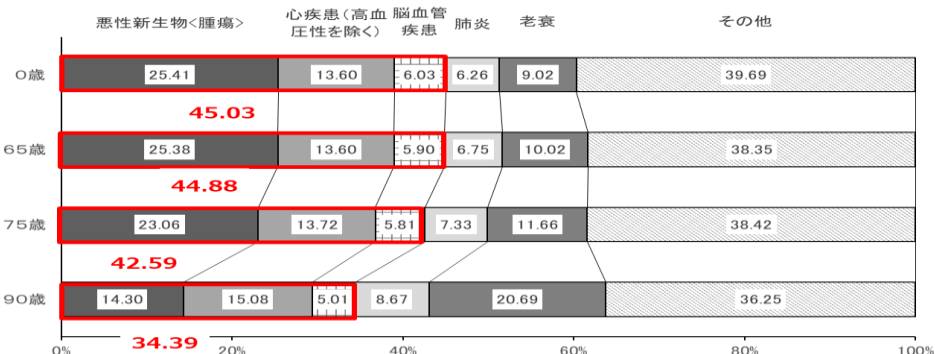
4. 死因分析

- 0歳における死因別死亡確率（主要死因）は、
 - ✓ 男は「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」、「老衰」、「肺炎」、「脳血管疾患」の順に高くなっている
 - ✓ 女は「老衰」、「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」、「脳血管疾患」、「肺炎」の順に高くなっている
- 0歳における特定死因を除去した場合の平均余命の延び（主要死因）は、
 - ✓ 男は「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」、「脳血管疾患」の順に長くなっている
 - ✓ 女は「悪性新生物<腫瘍>」、「老衰」、「心疾患」の順に長くなっている

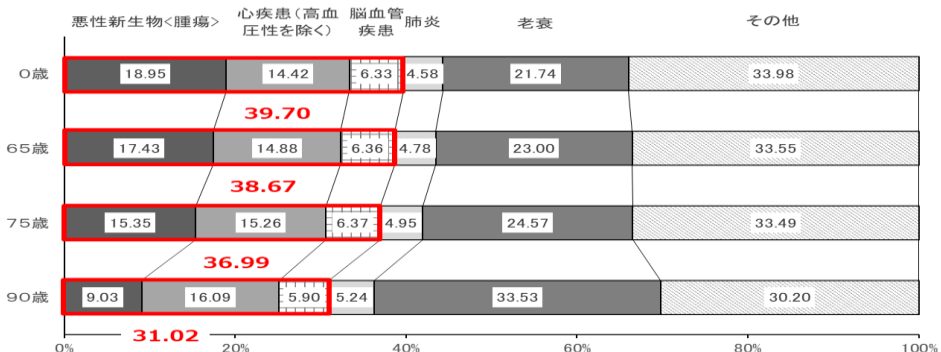
死因別死亡確率（主要死因）（令和7年）

特定死因を除去した場合の平均余命の延び（主要死因）（令和7年）

男



女



(単位:年)

除去する主要死因	年齢	男	女
悪性新生物<腫瘍>	0歳	3.07	2.66
	65	2.56	1.87
	75	1.81	1.30
	90	0.53	0.38
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.36	1.08
	65	1.06	1.01
	75	0.86	0.94
	90	0.53	0.64
脳血管疾患	0歳	0.64	0.55
	65	0.47	0.46
	75	0.37	0.41
	90	0.17	0.22
肺炎	0歳	0.45	0.30
	65	0.44	0.30
	75	0.42	0.28
	90	0.29	0.19
老衰	0歳	0.47	1.25
	65	0.52	1.32
	75	0.59	1.40
	90	0.77	1.56
悪性新生物<腫瘍>、 心疾患(高血圧性を除く) 及び脳血管疾患	0歳	5.84	4.77
	65	4.77	3.77
	75	3.60	3.02
	90	1.47	1.42

注：「悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患」の数値は、以下の理由により「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」及び「脳血管疾患」のそれぞれを合計した数値にはならない。

- 「悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患」の数値：3つの死因を同時に除去していることから、3つのどの死因による死亡も発生しないものとして延びが計算される。
- 「悪性新生物<腫瘍>」「心疾患」「脳血管疾患」それぞれの数値：単独に死因を除去し、他の2つの死因を除去していないことから、当該2つの死因による死亡が発生するものとして延びが計算される。